

2021年07月13日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【マーケット(外国為替市場)は、動意が薄い】

東京オリンピックの開催には、正直なところ、個人的には、反対だ。

コロナ禍で、ほとんど毎日、亡くなる方の報道が出ており、緊急事態宣言の下で、その開催が予定されている。

ただし、実際の競技開始を来週の7月21日(水)に控え、東京オリンピックの開会式を7月23日(金)に控えている。

その開催の是非に関して、そして、その開催の意義に関して、十分な議論も無いままに、なし崩し的にオリンピックの開催を迎える状況だ。

既に、海外からのオリンピック選手、選手団が来日していることも踏まえると、今さら、中止になることは考え難い。

オリンピックの競技選手のみならず、オリンピック関連で、海外から多くのマスコミが来日することを考えると、それに伴って、コロナウイルスが、日本に入ってくることは間違いない。

個人的には、東京オリンピックの開催期間は、なるべく外出をしないように心がけよう、と考えている。

オリンピックの選手村での感染者が見つかるなどの報道もあり、政府の喧伝している「安全安心」は、信用できない。

信用できないのならば、自衛するしか方法は無い。

ワクチンの接種にしても、結局のところ、東京オリンピックの開催に、間に合わなかった。

東京オリンピックの開催の前に、十分なワクチン接種が完了していれば、その情勢も、少しは良い方向に向かったのであろうが、残念ながら、現時点での日本のワクチン接種は、十分とは言い難い。

+++++

オリンピックの開催を直前にして、マーケット(外国為替市場)は、動意が薄い。

マーケット（外国為替市場）の関心が、オリンピックに向かっている訳でもなさそうだ。

むしろ、「夏休み相場」で、市場参加者の気持ちに、やる気が無いように映る。

材料が無い訳でもない。

米国の金融政策には変化が出ているので、むしろ、材料がある状態だ。

それでも、マーケット（外国為替市場）の大勢に、積極性が見られないのならば、静かに、時を待つ方が得策だ、と考えている。

まずは、東京オリンピックの開催で、マーケット（外国為替市場）が、どのように反応するのか、見つめる必要があるのだろう。

+++++

（2021年07月13日東京時間16:00記述）